

市長 全ての児童生徒が対象 給食費無償化検討へ

市町村議会

9日

能代市

一般質問で齊藤滋宣市長は、子育て世帯の負担軽減のため、25年度から小中学校の給食費を無償化する方向で検討することを明らかにした。

齊藤市長は「より子どもを産み育てやすい環境づくりの支援策の一つとして、給食費無償化の実施に向け前向きに検討したい」と述べ、検討の際は全ての児童生徒を無償化の対象にするとした。導入する自治体が全国的に増えていることなどを理由に挙げた。

市によると、教育費の負担が困難な家庭を対象に給食費や学用品費などを援助する就学援助制度を設けている。

また食品の価格が高騰していることを受け、市が給食食材購入にかかる費用の一部を負担。学校給食費物価高騰対策支援事業費として24年度一般会計当初予算に2345万円、今定例会に提出した同補正予算案に406万円を盛り込んだ。(佐藤辰)

(令和6年12月10日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)